

校長挨拶

佐賀県立鳥栖高等学校・香楠中学校

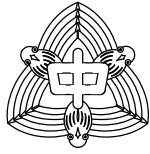
校長 富松 九三男

平成21年4月より校長を務めている富松と申します。

私は、昭和60年4月から平成8年3月までの11年間鳥栖高等学校に勤務いたしました。その当時、岩村校長・山本校長のもとで、「新生鳥栖高校」づくりを目指して特別クラスを設置し、学力向上と文武両道を目指してまいりました。その結果、東大・京大・九大等の難関国立大学2桁合格や、国公立大学3桁合格の目標を達成し、地域の皆さまの信頼を得て今日に至っています。

平成19年4月、県立香楠中学校が開校し中高一貫教育がスタートしました。その1回生が今年度は鳥栖高校2年生になり、中高一貫教育も仕上げの段階を迎えます。地域の皆さま方のご支援を得て、これからの日本社会を担うよりよい人材を育成する学校づくりに邁進していきたいと思っております。

『論語』の一節に「近き者は説び遠き者は来る」とあります。この言葉を学校経営の基礎に据え、学校生活における生徒の充実感こそが学校経営の根幹であると考えています。



香楠中学校 生徒諸君へ

校長 富松 九三男

あこがれから夢へ

みなさんは今何にあこがれをいただいていますか？ 学校はあこがれをエネルギー源にして、夢や理想を語る場所だと思います。夢を語ることは、みなさんの学校生活を豊かにし生きる力をあたえます。夢を語り夢に近づくためには、学校生活における目標が必要です。それは、目の小さな目標からはじまり、近い将来の目標、さらには大学合格などの大きな目標へと発展していきます。それらを1つ1つ乗り越えて、夢の実現に近づいていけると思います。まさに「念ずれば通ず」です。



授業で勝負

今年も「授業で勝負！」をスローガンに、先生方全員が一丸となって、みなさんの学力をより確実に伸ばします。先生方はわかる授業に努めますので、先生方を信頼して全力で授業に取り組んでほしいと思います。先生と生徒がともに物事の真理を探究することこそ、学びの原点です。

私たちは、この学びを基礎にみなさんの夢実現のため進路をきちんと保障します。学校を信頼して安心して勉学に部活動に、また学校行事に集中してください。それこそが夢実現のカギになると信じています。

関谷精神に学ぶ

関谷先生は本校体操部の創設者で、ご退職後も毎日朝早くから学校にみえて、校門付近の清そうや樹木のせん定などのほう仕活動をもくもくと行っておられます。

東日本大震災に際しては、高校・中学の生徒会が率先して救えん活動を呼びかけて、多くの義えん金と支えん物資を送ることができました。私は、関谷先生の精神がみなさんの心の中に息づいていると感動しました。

世の中の人役に立つことができることを喜びとして感じる人になってほしいと願っています。

